

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和 6 (2024) 年度

施設名	栃木県防災館
施設所管課	危機管理防災局消防防災課
指定管理者	北関東綜合警備保障株式会社（法人番号 9060001001355）
指定期間	令和 4 (2022) 年 4 月 1 日～令和 9 (2027) 年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市中里町 248 番地
施設の概要	①構造：鉄筋コンクリート造平屋一部 2 階建 ②面積：敷地面積 2,956 m ² 、延べ床面積 1,238 m ² ③内容：各体験室（大風、煙、地震及び大雨）、視聴覚室、図書資料室など
業務内容	①防災館の施設の維持管理に関する業務 ②防災館の運営に関する業務 ③上記に附帯する業務

2 収支の状況

令和 6 (2024) 年度

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※ 2	指定管理料	24,750	指 定 管 理 ※ 2	事業費	22
	利用料金収入	0		管理運営費	16,578
	その他収入※ ¹	23		人件費	10,381
	合計	24,773		その他支出※ ¹	0
	合計	24,773		合計	26,981
指定管理業務収支差額①					
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額 (①+②)					
備考 (※ 1 その他収入の主なものを記載) 栃木県エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金			備考 (※ 1 その他支出の主なものを記載)		

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和 5 (2023) 年度 (前年度)

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※ 2	指定管理料	24,750	指 定 管 理 ※ 2	事業費	110
	利用料金収入	0		管理運営費	18,575
	その他収入※ ¹	122		人件費	5,595
	合計	24,872		その他支出※ ¹	0
	合計	24,872		合計	24,280
指定管理業務収支差額①					
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額 (①+②)					
備考 (※ 1 その他収入の主なものを記載) 栃木県エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金			備考 (※ 1 その他支出の主なものを記載)		

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和5（2023）年度 (前年度)	令和6（2024）年度
栃木県防災館（全体）	利用可能日数	305日	303日
	利用日数	305日	303日
	利用率	100.0%	100.0%
	利用者数	14,541人	17,618人

4 サービス向上に向けた取組

- ・職員作成による防災クイズの更新などを行い利用者の満足度向上を図った。
- ・施設のリーフレットを利用者、団体、企業等に配布した。
- ・ホームページを活用し、利用促進及び利用者の利便性を図った。
- ・積極的に職員による外構清掃・植栽管理・館内清掃を実施し、施設の美観向上に努めた。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法								
・利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望等を集約。利用者へのサービス向上を図った。								
令和6（2024）年度 回収件数 239件								
主なアンケート項目	満足	やや満足	やや不満	不満				
①サービスの内容	85.5%	13.6%	0.0%	0.9%				
②スタッフの応対	88.1%	10.0%	1.4%	0.5%				
③施設の安全管理	89.0%	10.0%	0.5%	0.5%				
■来館回数 1回：86.6% 2回：9.2% 3回：1.7% 4回以上：2.5%								
■防災館を何で知ったか 紹介：48.1% インターネット：35.5% 雑誌・テレビ：13.4% リーフレット：3.0%								
■最も良かった体験施設 地震：39.0% 大風：20.5% 大雨：20.4% 煙：20.1%								
主な利用者意見（苦情・要望）	対応							
・解説が長い。	・利用者の状況に合わせた簡潔で分かりやすい解説を行うよう努める。							
主な利用者意見（積極的評価）								
・普段体験できないようなことばかりで大変勉強になった。 ・スタッフの説明が分かりやすかった。 ・災害の怖さを知ることができてよかったです。 ・災害が起きたときのために、事前に備えておこうと思った。								

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・広報強化のため、リーフレットを企業等へ配布した。 ・多くの来場者が見込めるよう、消防車両の展示や放水体験等のコーナーを設けるなど工夫を凝らし、防災フェスティバル（3/1）を開催した。なお、宇都宮市内全小学校へ開催を周知した。 <来場者数>435名 ・防災クイズを職員が作成することにより、展示スペースの充実を図った。 ・県内の店舗等で購入可能な防災用品を募集、展示し、防災用品への関心を高めた。 ・ホームページ等を活用し利用促進及び利用者の利便性を図った。 	
利用者の増加に向けた取組 ※指定管理者が独自に設定	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業等にリーフレットを配布し、広く県民への広報活動に努めた。 ・各メディアによる取材を受け入れることにより、防災館の認知度を高めた。 	
今後改善・工夫したい事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの県民に利用していただけるよう、ホームページやリーフレットを活用した広報、イベント実施や展示物の充実を図り利用者増加に向けて取り組む。 ・異常箇所の早期発見に努め、早急に改善を図ることで、利用者が安全に安心して利用できるよう管理・運営に努める。 	

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	団体は事前予約をしてもらうなど、皆が施設を利用できるよう努めている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	—	—
	③ 高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	一定ルールのもと、平等利用が確保されている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	施設の設置目的に沿って、業務が適正に実施されている。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	目標利用者数に届かなかったものの、県民サービス向上に向けた取組を実施している。	B
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	アンケートなどで満足度の把握に努め、サービス向上につなげている。	B
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	利用者からの意見、苦情には真摯に向き合い対応している。	B
	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	施設等の点検、修繕等は適切に実施されている。	B

	(6) 指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	職員作成の防災クイズのリニューアルを行い展示物の充実を図った。	B
3. 管理を 安定的に行 う物的的 基礎	① 組織体制は適正か。	利用者数によって柔軟に対応できるよう な体制をとっている。	B
	② 収支は適正でバランスがとれたもの か。	指定管理業務について、指定管理料の範 囲内で適正に実施している。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	エネルギーの節約に努め、身の回りの清 掃等もスタッフが実施している。	B
	④ 人材育成は適切に実施されている か。	社内研修等により適切に人材育成を実施 している。	B
	⑤ 危機管理体制（事故、緊急時の対応） は確保されているか。	利用者の安全を最優先に、体制の確保、 設備の点検等を実施している。	B
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保さ れているか。	消防学校での行事に協力するなど、連携 に努めている。	B
4. 個人情 報保護	① 個人情報の保護についての措置が計 画どおり実施されているか。	協定書に個人情報保護に関する条項を設 け、適切に実施している。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	文書等の開示に関する規定を制定してい るが、開示請求はなかった。	—
5. その他	① 施設の特性にふさわしい自己評価が なされているか。	セルフモニタリング等も行い、チェック を行っている。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されて いるか。	計画どおりに実施されている。	B
	③ イベント等を実施している場合は、地 域との連携が図られているか。	イベント時に宇都宮市内小学校へ周知 し、地域の子供達の集客に努めた。	B
	④ 環境への配慮（騒音・光害対策、ご み削減等）がなされているか。	節電に努め、ゴミの持ち帰りを推進する などの努力をしている。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	県や関係機関との連携を図り、業務を行 っている。	B
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書の中で、明確な目標を設定し、実現へ向けた努力をしている。 アンケート等の来客の評価だけではなく、自己点検を行い、利用者サービスに努めている。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も利用者数がコロナ流行前の水準には戻っておらず、目 標利用者数には達しなかったものの、利用者増に向けて営業活動を行っている。 通常運営の他に、各メディアの取材を積極的に受けることにより、施設のPRを図るとともに、展 示物を充実させることにより施設の設置目的である防災意識の高揚、防災知識の普及啓発に貢献し ている。 計画的な施設修繕などを行い、利用者満足度の向上及び適切な施設管理に取り組んでいる。 			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A : 事業計画に対して優れた取組となっている。
- B : 事業計画どおりの取組となっている。
- C : 事業計画に対して劣る取組となっている。
- D : 事業計画に対して著しく劣る取組となっている。